



No.391

編集発行人 中西三洋
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
Eメール chian@plum.plala.or.jp
電話 03 5842 6461
FAX 03 5842 6462
http://www17.plala.or.jp/chian
定価 50円

新しい年よ!

土井大助

何と悲しくも腹の立つ出来事多き一年だったか
子どもも老人も、毎日のように自殺に追い込まれ、
大資本はごっそり肥え太り、働くものは命を減らす。
更に 庶民に増税、大企業には減税、弱者は黙殺。
政府が急ぐ法案はどれも「廻れ右! 前へ進め!」
日本はどこへ進むのか 「美しい国」へ?
そいつは「美しい崖つ淵」、ねらいは若者の人生だ!
怒りの連続で老いの心身は 疲れるいつぼうだけど、
ここで立ちすくんだら、俺の人生の意味は何が残る?
新しい戦争は、古い戦争を身体で知った俺らの消滅を
じっと待ち構えているのかも知れないんだからな。
際どいが、今なら歴史の崖つ淵に足止めがかかる。
この春、死者の分まで若返って汗をかこう、若者も俺達も
新しい年よ、知恵をかせ! 熱をかせ! 力をかせ!
まともな人生の意味を求める日本の老若男女の正念に。

主 な 記 事

新年の決意	3
新春随想 / 大沼耕治・矢島恒夫・引地延子	4
顕彰碑 / 松田解子	5
抵抗の群像 / 岡本重康	6
同盟歌壇 / 碓田のぼる	7

新年明けましておめでとーございませう



中央本部会長

中西三洋

同盟が治安維持法犠牲者に対する賠償と謝罪を国に求めて以来、三九年の歳月が流れました。この間の皆様の限りないご援助を頂き、あらためて御礼申し上げる次第です。

小泉内閣を継いだ安倍新内閣は、さらに右翼的本性をあらわにして、教育基本法改悪はじめ共謀罪創設、防衛省昇格など憲法改悪と戦争国家づくりという、アジアと世界の平和に逆行する危険な道をすすめています。

また重税と弱者切り捨て政策をいっそうおしすすめて、国民の平和的に生きる権利をも根こそぎ奪おうとしています。

戦前からの反戦平和と主権在民を闘ってきた治安維持法犠牲者のこころざしをひきつぐ私たち同盟は、憲法改悪反対をたたかう人々、団体の皆さんといっそう団結し、引き続きその先頭に立つ決意です。

皆さんの旧に倍するご支援ご協力をお願いし、新年のご挨拶とします。

北海道 外尾静子

北海道の空域の殆どを覆い尽して昼夜を分たず操り展げる米軍飛行訓練。人を殺すことが可能になった自衛隊は公然と米軍と一体となつて共同訓練をくり返し、北海道を文字どおり北の軍事拠点とする。こんなことを許してなるものか。戦争と暗黒政治を許さぬ闘いの年、政治決戦の年を緊張して迎えました。

山形県 逸見光雄

治安維持法は権力によつて現代もなお生き続けている。私は戦後六十年権力にたいし、怒りと憎しみのために闘い続けてきた。米寿を越してどれだけ生きられるか、今年は無痴一と言わなかつた妻の十三回忌、素晴らしい多くの仲間を支えられ私は幸せです。九条をまもるため五〇万の署名と一万六千の会員拡大に向け燃え続けたい。

東京都 宮田 勝

都知事選挙では、革新無所属の吉田万三さんを推薦決定しました。吉田さんには足立区長当時、

多忙の中、同盟都本部定期大会に来賓としてご出席いただき、激励のご祝辞をいただきました。

吉田万三さんの父君資治さんは中央本部の会長もつとめた大先輩であり、同盟都本部は、革新都政実現のため全力をつくします。

新潟県 小林与蔵

今年は一ツの全国的な選挙戦の年、過去の侵略戦争を正当化する政府、自民党に対して、戦前の日本共産党と治安維持法の犠牲者たちの不屈の願いと、侵略戦争への経過、その歴史について、ひろく県民に知ってもらふことが、今ほど大事なときはないと考えます。そのために努めようと思ひます。

岐阜県 神戸 照

昨年会員目標を突破、宿願の本部事務所設営に取りくむ。九条改悪反対、教育基本法改悪阻止の県民運動に積極的に参加して、役割を果たしつ、国賠署名の独自活動を、「出番」に相応しく全会員参加で取りくむ努力をし、「再び侵

同盟中央役員・顧問

会 長	中西 三洋	横川 定司	角銅 立身
副 会 長	近江谷昭二郎	村田 泰子	橋本 幸夫
神 戸 照	伊藤 俊	上野 隆司	山崎 元
近藤 一雄	外尾 静子	田中 幹夫	田中 幹夫
増本 一彦	島津 昭	会 計 監 査	
宮田 勝	大沼 耕治	若林 義文	吉田 忠文
溝淵 政子	荒井 俊信	名譽会長	桑原 英武
柳河瀬 精	北村 直吉	顧 問	松崎 濱子
事務局長	久保田俊雄		宮本 太郎
針谷 宏一	水野 晃治		田熊 真澄
事務局次長	塩田 一行		石坂 真人
富矢 信男	井上 敏江		渡辺 タケ
小池 莊市	岡本 康		吉田千代子
松田 岩男	築谷 時雄		青山 照明
常任理事	引地 延子		小林 初江
松井 久雄	則武 真一		都留 忠久
川口 弘	勝部 庸一		
小口 巽	久保 文彦		
齋藤 久枝	中川 悦良		
	宇野美代子		

略戦争と暗黒政治許さぬ」世論を
県民になかにひろげていく奮闘を
したい。

大阪府 柳河瀬 精
日米同盟を地球規模に拡大しよ
うとするアメリカの世界戦略にひ

たすら追従しながら、安倍政権は
「戦争する国」づくりを加速させ
ています。

まさに同盟の出番、政府に戦争
と暗黒政治の責任を、いつそう大
きな声で迫っていかなければなり
ません。今年も同盟の真価を發揮
して奮闘します。

滋賀県 川端 俊英

今年、滋賀県本部は結成二十周
年を迎えますが、いまだに弱小組
織です。一刻も早く百人以上の組
織を建設し、同盟全国大会を迎え、
結成二十周年を祝う決意です。国
賠署名の目標達成にも力を注ぎま
す。それが憲法改悪・戦争国家づ
くりを許さない力となること確信
して、がんばります。

広島県 片桐隆三

この2007年という年を、日
本がアジアの平和の砦となり、そ
の役割を高めていく年にするよ
う、力を合わせてまいります。

被爆都市広島の前、岩国への
米核戦略基地強化など断じて許せ
ません。

治安維持法下で、艱難に耐え果
敢に戦った先輩たちに学んで、大
衆とともに平和への道を拓いてま
いらいます。

高知県 柳原 知

私たちは、今年高知県の治安維
持法犠牲者を顕彰する小冊子「不
屈に生きた土佐の同友」を発行し
ました。

再び、暗黒の政治への道が開か
れようとしている今こそ、日本が
戦争へと突き進んだ時、不屈の精
神で戦争に反対し、弾圧、投獄、
拷問、虐殺された先輩たちがいた
事を、若い世代に伝え、平和の守
り手として仲間を迎えたいと思っ
ます。

沖縄県 田港朝昭

九州・沖縄ブロック会議が昨年
那覇で開かれ各県の地道な活動を
拝聴した。沖縄県にも命を懸けた
多くの先輩がいた。沖縄戦後は米
軍に抵抗し人権・主権・平和運動を
創造し、今「共謀罪」動向を見逃さ
ぬ動きが見える。新年は、沖縄県の
諸活動を一望できる冊子の編・著
が話題となっている。多謝、多謝。

新春随想



戦前の体験を踏まえ、二度と戦争をくりかえす時代にはならないことを、戦後の原点としてきた私は、最近の政治の動きや右翼イデオロギーの氾濫は、戦前を想起させ、怒りと危機感を強めていきます。

しかし、視野を広げてみると、中南米の左翼政権の誕生や非同盟諸国の動きをはじめ、平和と共同の動きが東アジアに、ヨーロッパにと全世界的にひろがり、日本でも九条の会」の組織と運動

先輩の思いと歴史語る年に

大沼耕治

が大波のように急速にひろがっています。胸おどるような思いです。

弾圧の中で不屈に闘いながら、しかし残念にも戦争を阻止することが出来なかつた戦前の時代とは全く違つ情勢のなかで生きていることを日々実感しています。

今年はいつせい地方選と参議院選の年、侵略戦争とその時代を美化し、競争する国を企む反動の動きを阻止するため、治安維持法のもとで闘つた先輩たちの思いと歴史を語りながら頑張りぬく年にしたいものです。

(同盟宮城県本部事務局長)



明けておめでとうございます。昨年の暮れは教育基本法の改悪強行、防衛省法、そして憲法改悪への動きなど、異常な自民党政治は国民との矛盾、世界の流れとの矛盾を深めていきました。

この異常なゆがみを打開する新しい政治を求める歴史的新年を迎えましょう。

「歴史の顕彰三十九年になる年始め」

「九条・平和ひろがるつねり去年今年」

国民の知る権利や政治活動に対する弾圧、

今こそ出番、新たな前進を

矢島恒夫

暗黒時代の再現は許せません。

「共謀罪許さぬたにかい年新た」

小林多喜二の生誕百年、没後七十年を記念しての記録映画・上映も各地で進んでいます。

「時代(とき)を撃て広がる輪いま新年」

何よりも同盟の活動と前進のために地域での不屈のたたかいが重要です。

「五十万署名 激深き手に松の内」

さて、今年には選挙の年、新たな決意で、どつかりしつかり新しい時代の年明けを、今年もどうぞよろしく、頑張りましょう。

(同盟埼玉県本部副会長)



「光陰矢の如し」一年があつたという間に過ぎ、「9条守れ」に、「9条守れ」と言っているうちに、一方で政治の逆流はドンドン進んでいる。

どんな世の中になるのだろうか、恐ろしさを感じます。

私の活動の原点は何だろう。やはり戦争はダメ、平和な世の中です。満州現・中国東北部)で生まれ育ち、終戦で引き揚げてきて、戦後の苦労のなかで、みんなが幸せな平和が一番と思つようになりました。

この情勢ではもうひと頑張りを

引地延子

そして、この平和と主権在民を訴えて、あの戦争中に命をかけて闘つた人々がいたことを知り仲間に入りましょう。

ヨチヨチ歩きでみんなの後につき、その時どきの運動に参加し学んできましたが、学習不足はいつも私の脳裏をはなれません。

国賠要求実現が平和の基礎であることを思うと、時には「庭いじりでもしてゆっくりしたい」と思うこともありますが、この情勢ではもうひと頑張りしなくては、今年も充実した年を送りたいと思っています。

(同盟和歌山県本部事務局長)

顕彰碑

松田解子文学碑と文学記念室

秋田県が生んだ革命作家

松田解子文学碑と文学記念室

松田解子さんは、一九〇五年七月、秋田県の荒川鉦山で鉦夫の子として生れた。荒川村大盛小学校卒業後、鉦山事務所給仕として勤務しながら講義録で勉強し、秋田師範学校に入り、母校の教員となり、先輩教師や村の青年たちと文化活動をするなかで、社会主義を学んでいる。

二六年上京し、保険外交員、行商、女工などをしながら、小説の執筆をはじめ「無産者新聞」「戦旗」などに作品を発表し、検挙をくりかえしながら、特高警察の監視下で敗戦をむかえている。



〈松田解子文学記念室〉

戦後の四五年、日本共産党入党し、再び執筆活動に入り、また四七年四月の総選挙で共産党から秋田県二区で立候補してたたい、落選したが八七九四票を得ている。日本民主主義文学同盟員、詩人会議員として活動し、小説詩集など多くの著書を遺している。

松田さん母校の「大盛館」には「松田解子文学記念室」が開設され、大盛館の園庭には松田解子代表作である「おりん口伝文学碑」が建立されている。文学碑はJR奥羽本線羽後境駅から車で十五分。(秋田県本部 近江谷昭二郎)



〈おりん口伝文学碑〉

時の焦点

中川政調会長「核兵器保有について議論すべきだ」
麻生外相「おおいに議論すべきで、言論の自由だ」
安倍首相「論議は自由だ。非核三原則が政策だから問題ない」
笹川党紀委員長「非核三原則は見直し、有事の際はアメリカの核もちこみを認めるべきだ」

北朝鮮の核実験強行にかこつけ、日本核武装論が再燃しています。

政府高官、政権党幹部らの核兵器保有論は果して言論の自由として許されるものでしょうか。

日本核武装論

憲法九条の「戦争放棄・武力不保持」、同九条の「憲法尊重擁護義務」の立場からは、政府高官、国会議員らの核兵器保有論は明白な違憲行為。核兵器は超大量殺りく兵器であり、九条は本来、潜水艦や爆撃機などもつことを禁止した規定です。九条は「国務大臣・国会議員」などを名指しで擁護義務を課しています。

むろん、憲法の言論の自由は核問題＝原子力問題一般の論議を禁止、否定しているものではありません。たとえば原子力平和利用や世界の核兵器廃絶への論議展開と普及の自由はいうまでもありません。原発の安全性を求めると住民運動や毎年の原水爆禁止世界大会などはその自由の典型です。

実は核兵器保有論＝日本核武装論は古くて新しい問題。四年前の五月、時の官房副長官安倍晋三によって口火を切られ、官房長官福田康夫も共鳴して、内外に物議をかもしました。当時安倍晋三は早大隈講堂で二百名の学生を前に現行憲法下日本は「核兵器もミサイルも持てるし、使用できる」と断言したのです。

(『サンデー毎日』二〇〇二年六月二日号)

「日本核武装論」は安倍首相こそ発信源。近年内外の資料や証言により、いわゆる「日米核密約」がバク口されると、歴代自民党政権は開き直る形で高圧的に政治的本性をむき出しにできています。(元)

抵抗の群像

歴史を開いた青春

広高事件の

岡本重康



鳥根県浜田市金城町の市立体育館のロビーにかすりの着物に袴姿の立像が建っている。昭和初期、戦争と弾圧の嵐のなか、反戦・平和と学園の民主化を求めてたたかい、二十八歳の若さで世を去った岡本重康の彫塑像である。地元の寺田哲郎氏（同盟鳥根県本部副会長）がその生涯を掘り起こし、彫刻家の岡堂義武氏が製作して町に寄贈したものである。

岩田義道突撃隊を組織

岡本重康は一九二二（明治四五年）、鳥根県那賀郡波佐村（現・金城町）の旧家に生まれ、広島高校で多感な青春を反戦・平和、学園の民主化に燃やした。

岡本が旧制広島高校に入学した

一九三三、三年頃は、日本帝国主義が中国侵略を開始し、「満州事変」「上海事変」が起き、広島、呉は軍都として大陸侵略の前戦基地の役割を果たしていた。

一方、日本共産党や共青、全協などが中国侵略反対をかかげてさまざまな活動を展開。宇品港に向けて行進する出征兵士の隊列にビラを投げ込んだり、タクシーから撒くなどの大胆な行動をおこなった。呉海軍工廠では工場新聞『唸るクレール』が発行され、海軍のなかでも反戦・反軍を呼びかける共産党の細胞新聞『ゆるマスト』がひそかに配布されていた。

広島高校でも学内民主化と反戦活動が活発化し、岡本らは自治学生活会の中核分子で「岩田義道突撃

隊」を組織。この名称は三二年に虐殺された「岩田義道の遺志を継いで決起しよう」というもので岡本が責任者となり、学内運動の行動綱領として自治学生会員の三倍化、「赤旗（せつき）」「固定読者の三倍化、党への資金協力などを決めて取り組んだ。

広高生への弾圧

中国侵略の拡大という情勢のなかで弾圧も強まり、一九三〇年、三二年と広島地方でいっせい検挙があり、中国地方オルグだった錦織彦七（鳥根県出雲市出身）も熱海事件で逮捕された。

岡本重康が検挙された「広高事件」は三三年、軍国主義的反動教授の追放、講義辞退の全学ストライキに対しておこなわれたもので、防弾衣に身をかけた武装警官百五十名が三十台の自動車に乗り、四月二十六日未明を期して市内十七か所を急襲。広高生ら一〇八名を検挙するという大掛かりなものだった。

この弾圧で岡本は治安維持法違反として懲役二年、執行猶予五年

の判決を受けた。残忍な拷問が行われたことは言うまでもない。小柄だが健康だった岡本が出獄後僅か五年の人生に終わったのも、このときの拷問と無関係ではないと思う」と寺田哲郎氏は述べている。

広高を放校になった岡本はその後神戸方面で活動していたと思われるが、詳細は分かっていない。

四〇年、病魔に侵されて浜田町に帰り、興仁会病院に入院したが、七月二十六日に結核性膀胱炎のため死去した。二十八歳だった。

反戦の彫塑像に

反戦・平和の学生運動に身をささげ、治安維持法で弾圧された岡本重康の業績をたたえる立像は岡堂義武氏（元日本共産党金城町議、同盟会員）によって製作され、党支部と同盟鳥根県本部の呼びかけで02年10月3日に除幕式が行われた。

（本稿は寺田哲郎氏の著書「歴史を開いた青春」を編集部で要約したものです）

同盟歌壇

あこがれのごとく 碓田のぼる

海の果から母川回帰を遂げて来しかかる魚族の
なしみ思う

産卵をし終えし鮭が今は死ぬかテレビに人間の
とき目をあけ

鮭の目はほどほど街に乾きつつ歳末売り出し台に
行き先を待つ

「美しい国」のフレーズに酔わされてマスメディ
アも体制に寄る無念さの中

イタリア労働者のストライキ記事小さけれどあこ
がれのごとく読む今の日本に

書棚

内村千尋編・著

『瀨長フミと亀次郎
―届かなかった獄中への手紙』

あけぼの出版刊 一、八九〇円

本書は、沖縄県民の宝と言われた瀨長亀次郎さん（元沖縄人民党委員長・元那覇市長・元衆議院議員・元日本共産党副委員長）とフミさん（那覇市議会議員四期）夫妻のあゆみを、二女の内村千尋さんを中心に編集委員の協力で発刊したものです。

第一章「しなやかに したたかに 大衆と生きて」は、フミさんの自伝「熱い太陽のもと激動の島に生きて 亀次郎との二人三脚」を軸に、亀次郎の著書と日記をひらいて編集したものです。米軍占領下の沖縄で、人民党を結成。七十万同胞と団結して祖国復帰、平和の

ためにたたかい、人民党弾圧事件で逮捕・投獄。しかし、那覇市民は出獄した亀次郎を市長に選出した。どんな卑劣な弾圧にも屈せずたたかいた続けた瀨長夫妻。

第二章「届かなかった獄中への手紙」は一九五四年十月「人民党事件」で、亀次郎が逮捕され、沖縄刑務所・宮古刑務所に投獄。最近、アメリカ国立公文書館に当時の手紙のコピーが収蔵され、そこには宮古地区警察署長が長女の手紙を、瀨長には渡しておりません」という報告書が添付されていたのである。驚きである。

このほか、二人のエッセイ・詩・短歌など多彩。歩んだ道は敬服の一言につきる。

小生は、六〇年代に祖国復帰運動を支援するため、数度にわたって渡航申請をしたがビザがおりず、以来、その後遺症か、いまだに未渡航だ。

(幹)



賀 正

はた 畑 田 重 夫 お	一橋大学名誉教授	浜 林 正 夫	日本美術会 第60回日本アンデパンダン展	〒03 5842 5665	映画上映会 フィルム・DVD上映・映画料相談 DVD・ビデオ販売 定価(税込) 3000円	映画「時代を撃て・多喜二」 製作委員会	〒112-0002 東京都文京区小石川一―六― 春日スカイハイツ・03 映画共闘会議気付 電話03・五六八九・三四〇四 FAX03・五六八九・三四八四 (12月より右記に移転しました)
---------------------------	----------	----------------	-------------------------	---------------	--	------------------------	---

「治安維持法と現代」〇六年秋季号
読みごたえある教基本法特集

「治安維持法と現代」〇六年秋季号は、特集「教育基本法改悪を問う」 藤田昌士、俵義文、松川康夫各氏の論稿が改悪案の内容と

その背後の意図を余すところなく糾弾している。ぜひ一読して理論武装したいもの。同時に、「長野県における治安維持法と軍国主義教育」、「竹本源治」と教育基本法」、「銃口」の主人公モデルの一人小川文武さんのこと」は、戦前の治安維持法体制と民主教育を志してたたかった教育者の人間像を浮きぼりにして興味深い。

事務局日誌

- 12月1日 九条世界会議第三回相談会
- 12月2日 婦人団体連合会総会
- 12月4日 国際女性デー第一回実行委員会
- 12月7日 中央三役会議
- 12月8日 12・8国民集会
- 12月9日 日本国際法律家協会総会

【訂正】本紙11月号「平和と連帯の旅 韓国を訪ねて」の3段目「伊藤博文を旅順で暗殺」は「八ルピンで暗殺」に訂正します。

近刊予告「告発！ 戦後の特高官僚」姉妹編

権力犯罪者・特高官僚の戦後を綿密な調査で赤裸々にした著者の論文集

柳河瀬 精著

仮題 戦後反動潮流と特高官僚

予価1800円 詳細は追って連絡させていただきます
発行 日本機関紙出版センター

●特集「教育基本法改悪を問う」

『治安維持法と現代』 2006年秋季号 好評発売中



【主な内容】「教育基本法の改悪は何をねらうか」=藤田昌士、「政府の教基法案の全体的な問題点」=俵義文、「自然科学者の目から見た教基法改悪」=松川康夫など三氏が教基本改悪の問題点を詳述。治安維持法弾圧事件関連諸論文。「戦後補償問題のなかで同盟運動の先駆性を考える」論文も、学習に好適です。

A 5版176頁・定価1000円、送料210円。各都道府県本部でお求めを。

企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

中央

<p>中央</p>	<p>日本共産党 中央委員会 東京都渋谷区千駄ヶ谷四一六七 ☎〇三三三四〇三三 六一一一</p>	<p>二〇〇七年 元旦 日本共産党 国会議員団 東京都千代田区永田町一七一衆議院内 ☎〇三三三五八一 五八八八</p>	<p>安保破棄中央実行委員会 東京都千代田区三崎町一一一三 ☎〇三三三三六四 四七六四</p>	<p>自由法曹団 団長 松井 繁明 東京都文京区小石川二二二八 DIXMANション小石川二〇一 ☎〇三三三八一四 三九七</p>	<p>日本民主青年同盟 中央委員会 東京都渋谷区神山町四 ☎〇三三三三六八 五三〇一 F〇三三三三六八 五三〇一</p>	<p>日本婦人団体連合会 月刊「婦人通信」 東京都港区千駄谷 一一九三〇三 ☎〇三三三四〇一 六一四七 F〇三三三四七四 五五八五</p>	<p>新日本婦人の会 東京都文京区小石川五〇二〇 ☎代表電話〇三三三八四九一四一 F〇三三三八四九一四一</p>
<p>婦人民主クラブ 東京都千代田区三本木十二丁目一〇番 ☎〇三三三四七八 三三一一七 F〇三三三四七八 三三一一七</p>	<p>全国労働組合総連合 議長 坂内 三夫 東京都文京区湯島二四四 ☎〇三三三八四二 五六一一</p>	<p>全国商工団体連合会 会長 国分 稔 東京都豊島区目白二二六三 ☎〇三三三九八七 四三九一 F〇三三三九八八 〇八二〇</p>	<p>日本国家公務員 労働組合連合会 中央執行委員長 福田 昭生 東京都港区西新橋一七一四 ☎〇三三三五〇二 六三六三</p>	<p>全労働省労働組合 中央執行委員長 新宮 峰男 東京都千代田区霞が関二二二 ☎〇三三三五五三 五二二二 F〇三三三五五三 五二二二</p>	<p>全法務省労働組合 中央執行委員長 岩波 薫 東京都千代田区霞ヶ関一一一 ☎〇三三三五八〇 〇五八四</p>	<p>全国税労働組合 東京都千代田区霞ヶ関三一 ☎〇三三三五八一 三六七八 F〇三三三五〇七 〇八八六</p>	<p>憲法教育基本法を守りまかせよう！ 全日本教職員組合(全教) 中央執行委員長 石 元 巖 東京都千代田区二番町二二 ☎〇三三三三二二 〇二二三</p>
<p>日本自治体労働組合総連合 中央執行委員長 駒場 忠親 東京都文京区大塚四一〇七 ☎〇三三三三九七八 三五八〇</p>	<p>日本医療労働組合連合会 東京都台東区入谷一九五 ☎〇三三三八七五 五八七一</p>	<p>日本新聞労働組合連合 東京都千代田区三崎町三五六 ☎〇三三三三六五 八六四一</p>	<p>農民運動全国連合会 会長 佐々木 健三 東京都豊島区南池袋一一三一二 ☎〇三三三五九〇 六九五九 F〇三三三五九〇 六九五九</p>	<p>全日本年金者組合 中央執行委員長 森 信幸 東京都豊島区南大塚一六〇二〇 ☎〇三三三三九七八 二七五一</p>	<p>生協 労働連 東京都渋谷区千駄ヶ谷四一九 ☎〇三三三三〇八 〇〇六七</p>	<p>全日本民主医療機関連合会 会長 肥田 泰 東京都文京区湯島一四四 ☎〇三三三三八四二 六四五一</p>	<p>原水爆禁止日本協議会 東京都文京区湯島一四四 ☎〇三三三八四二 六〇三三 F〇三三三八四二 六〇三三</p>
<p>非核の政府を求める会 東京都新宿区信濃町三三三 ☎〇三三三三六七 五五一三 F〇三三三三三五 〇九二〇</p>	<p>日本中国友好協会 会長 伊藤 敬一 東京都千代田区西神田一四一 ☎〇三三三三四四 四七〇三 F〇三三三三四四 四七〇三</p>	<p>日本平和委員会 東京都港区芝一四九 ☎〇三三三四五一 六三七七 F〇三三三四五一 六三七七</p>	<p>日本宗教者平和協議会 理事長 鈴木 徹衆 東京都文京区湯島三三七一 ☎〇三三三三三三 〇八四二 F〇三三三三三三 〇八四二</p>	<p>日本ベトナム友好協会 東京都豊島区南大塚一七一〇 ☎〇三三三三九四五 八五四三 F〇三三三三九四五 九〇七二</p>	<p>印刷・ホームページ 自費出版・自分史 株きかんし</p>	<p>月刊「機関紙と宣伝」 日本機関紙協会 理事長 小関 勝也 東京都港区芝一四九 ☎〇三三三四四四 八二四一 F〇三三三四四四 八二四一</p>	<p>0014 0015 東京都港区芝一四九 ☎〇三三三四四四 八二四一 F〇三三三四四四 八二四一</p>
<p>朝9時〜夜9時・年中無休 憲法9条擁護運動とともに 平和と労働センター 全労働連合会館 お茶の水文京区湯島2-4-4 ☎〇三三三八四二 五六一〇 F〇三三三八四二 五六一〇</p>	<p>信頼と安心の旅 株富士国際旅行社 東京都新宿区新宿一一一七 ☎〇三三三三五七 三三七七 F〇三三三三五七 三三七七</p>	<p>自費出版 民主勢力の本づくり50年。多様な要望に心える高い技術。相談無料。 光陽出版社・株光陽メディア ☎〇三三三三六八 七八九九</p>	<p>劇団 前進座 東京都武蔵野市吉祥寺南町 ☎〇四二二 四九 二六三三</p>	<p>株翼プロダクション 代表取締役 山口 逸 郎 東京都港区新橋三六二 本洋ビル ☎〇三三三四三八 〇五六一</p>	<p>0053 東京都江東区辰巳 ☎〇三三三五三三 二八二二 F〇三三三五三三 二八二二</p>	<p>0014 0015 東京都港区芝一四九 ☎〇三三三四四四 八二四一 F〇三三三四四四 八二四一</p>	<p>0014 0015 東京都港区芝一四九 ☎〇三三三四四四 八二四一 F〇三三三四四四 八二四一</p>

<p>家族旅行から各種大会までの旅行社 勤労者レクリエーション協会 〒170-0013 東京都豊島区東池袋一四六-1三 ☎〇三三 三九八四 〇四〇一(代) F〇三三 三九八四 〇四〇七</p>	<p>発送代行引越・一般運送 株式会社 教宣文化社 代表取締役社長 三澤 憲一 東京都墨田区豊玉北一 六一〇三三 ☎〇三三 三九九四 六一〇三三</p>	<p>いわさきちひろ作品普及会 東京都杉並区阿佐谷南一四一 ☎〇三三 三三三三 八 三三五三</p>	<p>有石川印刷社 代表取締役 石川 幸一 東京都千代田区猿樂町二五六 ☎〇三三 三三三三 九四 六五七四 F〇三三 三三三三 九四 六五七四</p>	<p>株式会社 新日本出版社 代表取締役 小 櫻 勲 東京都渋谷区千駄谷四一五六 ☎〇三三 三三四二 三 八四〇一</p>	<p>小林多喜二逗留の宿 福元館 0121 神奈川県厚木市七沢二七五八 ☎〇四六 二四八 〇三三四(五) 〒F〇四六 二四八 六二五八</p>	<p>消費税率引上げ反対 中央経理事務所 税理士 千葉 幸美 東京都台東区三筋二一七一 ☎〇三三 三八六二 〇六一一</p>	<p>弁護士(日本民主法律家協会) 澤 藤 統一郎 〒113-0033 東京都文京区本郷五-三三-十二 F〇〇三三 五八〇二 〇八八二 ☎〇三三 五八〇二 〇八八二</p>	<p>治安維持法国賠同盟 北海道本部 会長 外尾 静子 札幌市中央区通西十二丁目六七番藤元 ☎F〇一一一 二六一 三三七八七</p>	<p>札幌支部 支部長 伊藤 三郎 小樽支部 支部長 寺井 勝夫 室蘭支部 支部長 青木 修 十勝支部 支部長 太田柳 太郎 釧路支部 支部長 吉原 成三 南空支部 支部長 鈴木 昌澄 苫小牧支部 支部長 秋好 義保 北空支部 支部長 元雪 清治 北見支部 支部長 堀田 昭秀 見聞支部 支部長 本間 昭一</p>	<p>日本共産党 北海道委員会 委員長 西野 敏郭 札幌市北区北六条西七丁目 ☎〇一一一 七四六 一一五一</p>	<p>治安維持法国賠同盟 青森県本部 青森支部 支部長 門倉 方 〒030-0904 青森市茶屋町八 九 F〇〇一七 七六五 一九八六 ☎〇一七 七六五 一九八六</p>	<p>治安維持法国賠同盟 岩手県本部 盛岡市本町通一四二七 国民救援会 ☎〇一九 六五一 三五九一</p>	<p>日本共産党 岩手県委員会 盛岡市本町通二 三六 ☎〇一九 六五一 五八八一</p>	<p>治安維持法国賠同盟 宮城県本部 会長 大川 芳夫 仙台市青葉区中山二〇二六 二〇二 ☎〇二二 二七九 二二五五</p>	<p>日本共産党 宮城県委員会 委員長 中島 康博 仙台市青葉区一番町一 二二二五 ☎〇二二 二七九 二二五五</p>	<p>治安維持法国賠同盟 秋田県本部 会長 近江谷 昭二郎</p>	<p>日本共産党 秋田県委員会 委員長 米田 吉正 秋田市中通五丁目一 一九 ☎〇一八 八三三 七八五四</p>	<p>治安維持法国賠同盟福島県本部 会長 加藤 起 福島市五月町二五 福島県連内 ☎〇二四 五三三 三〇九七 F〇二四 五三三 三二〇二</p>	<p>日本共産党 福島県委員会 委員長 最上 清治 福島市南矢野目字谷地一七二 ☎〇二四 五五五 〇五五〇</p>	<p>治安維持法国賠同盟 茨城県本部 水戸市見川五 一七二八一 ☎〇二九 二五三 二二四</p>	<p>日本共産党 茨城県委員会 委員長 田谷 武夫 水戸市元吉田町二 三 ☎〇二九 二五三 二二四</p>	<p>治安維持法国賠同盟 栃木県本部 芳賀郡益子町芦沢八四 四 ☎〇二八五 七二 三三八〇四</p>	<p>日本共産党 栃木県委員会 宇都宮市東蒲町二 二二 ☎〇二八 六五八 四三〇二</p>	<p>治安維持法国賠同盟埼玉県本部 会長 近藤 一雄 さいたま市浦和区高砂一三三〇 日本機関紙協会埼玉県本部内 ☎F〇四八 八八四 〇〇九四</p>	<p>日本共産党 埼玉県委員会 さいたま市大宮区北袋町一 一七一 ☎〇四八 六五八 五五五一 F〇四八 六五八 五五五六</p>	<p>治安維持法国賠同盟 千葉県本部 千葉市中央区松波一 四二 日本国民救援会 千葉県本部内 ☎〇四三 一一五 七三五</p>	<p>日本共産党 千葉県委員会 千葉市中央区新千葉三一 六一五 ☎〇四三 一一五 七三五</p>	<p>治安維持法国賠同盟 東京都本部 副会長 川宮 明勝 会長 佐藤 滋 同 境山 崎 同 松井 鶴 同 藤本 増久 同 次長 藤本 増久 同 局長 藤本 増久 同 事務局長 藤本 増久 東京都千代田区神保町一 一四 ☎F〇三三 三三九一 六〇七〇</p>	<p>日本共産党 東京都委員会 東京都渋谷区代々木一 三五一五 ☎〇三三 三三三三 〇三三一</p>	<p>研究誌『ねじ釘』は、治安維持法に抗して反戦平和の絵筆を振るった柳瀬正夢研究の最新の成果を紹介しています。</p>	<p>東京都新宿区喜久井町二一九 ☎F〇〇三 三三三三 〇五 七九五九 F〇〇三 三三三三 〇五 八七五二</p>	<p>0044 東京都新宿区喜久井町二一九 ☎F〇〇三 三三三三 〇五 七九五九 F〇〇三 三三三三 〇五 八七五二</p>	<p>0844 青森市桂木一丁目十一 四二 ☎〇一七 七三二 五三二二 F〇〇一七 七三二 五三二二</p>	<p>0904 青森市茶屋町八 九 門倉 方 ☎〇一七 七六五 一九八六 F〇〇一七 七六五 一九八六</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>	<p>山形支部 支部長 逸見 光雄 山形市八日町二 三 八鈴木光子方 ☎〇二二 六四一 七〇五五 F〇二二 六四一 七〇五五</p>
--	--	--	---	---	---	--	--	--	---	---	---	---	--	--	---	---	--	--	---	--	---	--	---	--	--	---	--	--	--	---	---	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

<p>日本共産党 富山県委員会 委員長 反保直樹 富山市牛島本町一丁目 ☎〇七六 四三二一 八三三三</p>	<p>日本共産党 新潟県委員会 委員長 小日向昭一 新潟市花園二 三 一〇 〒950 0086 ☎代表〇二五 二四七 六三六八 F〇二五 二四七 六三六八</p>	<p>日本共産党 治安維持法国賠同盟 新潟県本部 会長 鈴木良枝 〒951 8124 新潟市医学町通一 六七 八百源ビル三階 ☎・F〇二五 二六六 四五一九</p>	<p>日本共産党 神奈川県委員会 横浜市神奈川区西神奈川一 一八二二 ☎〇四五 四三二一 二二〇一</p>	<p>日本共産党 治安維持法国賠同盟 神奈川県本部 会長 増本一彦 藤沢市藤沢五七一 七フシビル 増本法律事務所内 ☎〇四六 六二二一 一七二二</p>	<p>日本共産党 山梨県委員会 委員長 千葉信男 甲府市相生一 四 二一 ☎〇五五 二三五 二四三七</p>	<p>日本共産党 治安維持法国賠同盟 富山県本部 会長 古川松男 富山県上新川郡大沢町下大久保 一 二九九 四六八 小森方 ☎〇七六 四六八 一三〇三</p>
<p>日本共産党 治安維持法国賠同盟 福井県本部 会長 吉田一夫 敦賀市新和町一 四九 一七 ☎〇七七〇 二二二 二二七一</p>	<p>日本共産党 石川県委員会 委員長 秋元邦宏 金沢市中村町九 一〇 ☎〇七六 二四三 二八七七</p>	<p>日本共産党 長野県委員会 委員長 今井誠 長野市若里一 二二 七 長野市伊那地区委員会 佐久地区委員会 上小更地区委員会 諏塩地区委員会 飯伊地区委員会 中飯地区委員会 信地区委員会</p>	<p>日本共産党 治安維持法国賠同盟 長野県本部 会長 河原田和夫 長野市東町五九三 高校会館 ☎〇五八 二五二 四〇八二</p>	<p>日本共産党 岐阜県委員会 委員長 松岡清 岐阜市千石町一 二二 ☎〇五八 二六五 三三七七</p>	<p>日本共産党 福井県委員会 委員長 南秀一 福井市文京二 五九 一 ☎〇七七六 二七 三八〇〇</p>	<p>日本共産党 岐阜県本部 岐阜市西野町六 二五 早川ビル3F ☎〇五八 二五二 四〇八二</p>
<p>日本共産党 滋賀県委員会 委員長 奥谷和美 大津市昭和町四 八 ☎〇七七 五二二 八二一〇</p>	<p>日本共産党 静岡県委員会 委員長 松下功 副委員長 山村糸子 書記長 岩附幸雄 静岡市巴町六 四 ☎〇五四 二四四 二二四四</p>	<p>日本共産党 滋賀県本部 会長 川端俊英 大津市南志賀二 四五 五 ☎〇七七 五二四 六八六〇</p>	<p>日本共産党 三重県委員会 委員長 大嶽隆司 津市桜橋一 六〇九 ☎〇五九 二二七 七三〇一</p>	<p>日本共産党 三重県本部 会長 多喜正男 四日市新正四丁目一五 七 ☎〇五九 二三五 五三二七</p>	<p>日本共産党 愛知県委員会 委員長 岩中正巳 名古屋市中区新栄三 二二 二七 ☎〇五一 二六一 三四六一</p>	<p>日本共産党 滋賀県本部 大津支部 彦根支部 支部長 高田敬子 支部長 田中滋康</p>
<p>日本共産党 京都府委員会 委員長 渡辺和俊 京都市中京区丸太町新町角 大炊町一八六 ☎〇七五 二二一 五三七一</p>	<p>日本共産党 和歌山県委員会 委員長 竹内良平 和歌山市西長町一 三三三 ☎〇七三 四二五 四一一一</p>	<p>日本共産党 滋賀県本部 大津支部 支部長 高田敬子 支部長 田中滋康</p>	<p>日本共産党 三重県本部 津市桜橋一 六〇九 ☎〇五九 二二七 七三〇一</p>	<p>日本共産党 三重県本部 四日市支部 和歌山支部 支部長 林幸三</p>	<p>日本共産党 愛知県本部 名古屋支部 和歌山支部 支部長 関口義英</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山支部 支部長 藤沢弘太郎 和歌山市吉田一〇二 ☎〇七三 四二二 七〇七六</p>
<p>日本共産党 大阪府委員会 委員長 柳河瀬精 大阪府天王寺区寺田町二 六二 東大阪ビル三階 ☎・F〇六 六七七一 七五五五</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 紀南支部 支部長 芝峰進</p>	<p>日本共産党 滋賀県本部 大津支部 支部長 高田敬子 支部長 田中滋康</p>	<p>日本共産党 三重県本部 津市桜橋一 六〇九 ☎〇五九 二二七 七三〇一</p>	<p>日本共産党 三重県本部 四日市支部 和歌山支部 支部長 林幸三</p>	<p>日本共産党 愛知県本部 名古屋支部 和歌山支部 支部長 関口義英</p>	<p>日本共産党 和歌山県本部 和歌山支部 支部長 藤沢弘太郎 和歌山市吉田一〇二 ☎〇七三 四二二 七〇七六</p>

<p>日本共産党 大阪府委員会 大阪市天王寺区空堀町二三 ☎〇六 六七六一 八七七 一</p>	<p>治安維持法同盟兵庫県本部 会長 佐野 陽三 神戸市中央区元町通 六六一二 ☎〇七八 三五一 〇六七七</p>	<p>日本共産党 兵庫県委員会 神戸市兵庫区新開地 三四二〇 ☎〇七八 五七七 六二五五</p>	<p>治安維持法同盟 奈良県本部 奈良市西木辻瓦町35 井本ビル3F奈良連内 ☎〇七四二 二二三 八五七六</p>	<p>日本共産党 奈良県委員会 奈良市四条大路丁目一六 ☎〇七四二 三三五 五八一</p>	<p>治安維持法同盟 岡山県本部 会長 則 武真一 岡山市西中島町一三 ☎〇八六 二七一 二四三八</p>	<p>日本共産党 岡山県委員会 委員長 石井 ひとみ 岡山市新京橋一 三一八 ☎〇八六 二七一 二二二一</p>	<p>治安維持法同盟島根県本部 会長 金 森 ひろたか 出雲市塩治有原町四六一 ☎〇八五三 二二二 三四七四</p>
<p>日本共産党 島根県委員会 委員長 中林 隆 松江市袖師町三六 ☎〇八五二 二四二 四四四</p>	<p>治安維持法同盟 鳥取県本部 鳥取市長 伊藤 昭二 鳥取市立川町六丁目三四二八 (草刈司方) ☎〇八五七 二四二 四二五八</p>	<p>日本共産党 鳥取県委員会 鳥取市吉方一六八 八 ☎〇八五七 二二二 八三六九</p>	<p>治安維持法同盟 広島県本部 広島市中区上八丁堀八七 長束ビル四階広島共同法律事務所内 ☎八二二 二二二 二八六七</p>	<p>日本共産党 広島県委員会 委員長 鍵浦 俊文 広島市中区八丁堀八番一〇号 ☎八二二 二二八 三三六六</p>	<p>治安維持法同盟山口県本部 会長 林 洋武 山口市下小鯖二八三六 二二二 ☎八三 九二七 三〇〇一</p>	<p>日本共産党 山口県委員会 委員長 山本 丈夫 山口市小郡山手上三七三 五 ☎八三 九七二 四二二</p>	<p>四・一六事件被告 治安維持法同盟 山口県本部名誉会長 田 熊 真 澄</p>
<p>治安維持法同盟徳島県本部 会長 大栗 丸人 徳島市寺島本町西二丁目一六 ☎八八 六二六 二一五</p>	<p>日本共産党徳島県委員会 委員長 上村 秀明 徳島市北佐古二 四 四 ☎八八 六三二 一三二二</p>	<p>治安維持法同盟 香川県本部 会長 久保 文彦 高松市藤塚町三十一 一 ☎F 八七 八三五 一〇一一</p>	<p>日本共産党 香川県委員会 高松市藤塚町三十三 十四 ☎八七 八三四 七三二一</p>	<p>治安維持法同盟 愛媛県本部 会長 中川 悦良 松山市南江戸一 四三〇 〇 ☎八九 九二二 四七六七</p>	<p>日本共産党 愛媛県委員会 委員長 稲垣 豊彦 松山市立花一 三 四四 ☎八九 九四三 五九七一</p>	<p>治安維持法同盟 高知県本部 高知市久礼野二二三 三三一 ☎八八 八四五 五四六七</p>	<p>日本共産党 高知県委員会 高知市丸ノ内一 六一 ☎八八 八二四 一一五五</p>
<p>治安維持法同盟 福岡県本部 会長 角 銅立身 福岡市中央区大名二 二五一 第一吉田ビル五〇二 ☎九二 七三三 一四四</p>	<p>日本共産党 福岡県委員会 県委員長 岡野 隆 福岡市博多区住吉五六 一四 ☎九二 四二一 五二二一</p>	<p>治安維持法同盟 佐賀県本部 会長 山下 虎芳 佐賀市大財一 五 四四 ☎九五二 二六二 二八三六</p>	<p>日本共産党 佐賀県委員会 佐賀市神野東四 一 三八 ☎九五二 三三一 〇三九一</p>	<p>治安維持法同盟 長崎県本部 会長 吉田 次雄 大村市吉町一 一六〇九 竹尾一夫芳 ☎九五七 五三三 三三六七</p>	<p>日本共産党 長崎県委員会 委員長 山下 満昭 〒852 813長崎市扇町一 八 ☎〇九五 八四九 六四八一</p>	<p>治安維持法同盟 熊本県本部 会長 梶 原定義 熊本市神水一 三三〇 七 ☎九六 三八一 一八〇七</p>	<p>日本共産党 熊本県委員会 委員長 久保山 啓介 熊本市細工町一 三三一 ☎九六 三三二 二二七</p>
<p>治安維持法同盟 大分県本部 会長 立川 義人 宇佐市高森二 都留忠久方 ☎九七八 三三七 八五二</p>	<p>日本共産党大分県委員会 委員長 林 田 澄 孝 大分市中津留一 二 八 ☎九七 五五八 六五二</p>	<p>治安維持法同盟 宮崎県本部 〒880 0024 宮崎市大塚台西一丁目 県住一〇五 天水貞照方 ☎F 九八五 四八 一九六三</p>	<p>日本共産党 宮崎県委員会 委員長 津島 忠勝 宮崎市清水三 九 一八 ☎九八五 二七七 六六六六</p>	<p>治安維持法同盟 鹿児島県本部 会長 小堀 清直 鹿児島市上福元町三八〇 八 ☎九九 二六八 一三三三</p>	<p>日本共産党鹿児島県委員会 委員長 野 元 徳 英 鹿児島市真砂本町四二 九 ☎九九 二五一 七三三三</p>	<p>治安維持法同盟沖縄県本部 会長 田 港 朝 昭 那覇市樋川一 九 二二 石原司法書士事務所 ☎九八 八三六 三三四九</p>	<p>日本共産党 沖縄県委員会 委員長 赤嶺 政賢 那覇市泊一 四七 ☎九八 八六二 六三三二</p>